# 基盤共通教育基幹科目



THINKING OUTSIDE YAMAGATA



- ※掲載情報は、令和2年3月下旬時点のものです。
- ※今後、掲載されている説明会及び授業日程に変更があった場合は、 掲示等でお知らせします。

#### 目 次



受講にあたって

学習地域別マップ

授業紹介

地域人材育成キャリア 教育プログラムに 参加しませんか?

現地講師からの 学び方

現地体験の服装

形県の基礎情報

# 基盤共通教育のシラバスはこちら

http://www.yamagata-u.ac.jp/ gakumu/syllabus/2020/7sylla.htm



#### 授業一覧

#### 前期

- 07 山形の方言と日本語
- 地域の知恵と科学の力でエコ社会創り
- 世間の歩き方
- 山形の歴史と文化
- 山形の食を考えるI
- フィールドワーク城下町
- グローバル社会で活躍するために
  - 国際派の先輩をお招きして-
- 山形の歴史と文化
- 地域の中の大学
- 山形と紅花の歴史
- 地域体験スタートアップ
- 山形の水土里(みどり) 資源
- 山形から日本と世界を考える
- 出羽の先史時代
- 高大連携でスキルアップ!
- 人間の生活と食の安全・安心Ⅲ
- 23 人間の生活と食の安全・安心 I
- 新聞で山形を知る
- フィールドワーク・月山-景観から地域を読む-
- 「地域 | と「学校 | の関係から山形を考える
- フィールドワーク 山形で働く魅力(プレインターンシップ)
- 山形から考える地域づくり
- 山形の森づくり体験
- 農業・農村の技術とマネジメントを学ぶ(農業体験)
- フィールドラーニング-共牛の森もがみ
- 32 フィールドラーニング庄内

- 地域体験スタートアップ
- 雪国で考える
- 山形の火山、世界の火山
- 山形の歴史と文化
- 歴史民俗資料を読み解く
- 山形の歴史と文化
- 山形の企業を考える
- 観光経済学と地域ブランド
- 山形の食を考えるⅡ
- キャリア形成とワークライフバランス
- フィールドワーク城下町
- 44 近代文学の中の山形
- 新聞で山形を知る
- 世間の歩き方
- 47 仕事の流儀
  - ~山形の職業人から学ぶ仕事のやりがい~
- 48 山形から考える地域産業
- 地域のにぎわいづくり体験
- 50 やまがたフィールド科学Ⅱ(雪国の森と雪を科学する)

# 受講にあたって

# 立脚点を見つめる態度と能力

学士課程基盤教育機構長 二 上 英司

「ヒト」という生き物は、目標を見つけるとその目標に向かって猛進を始めるという特性を持っていま す。他の生物には見られないヒトの知識・技術に関する多面的、かつ徹底的な進歩の追求力は、ここ に因るところが絶大です。一方、その猛進は、自己が依って立つ環境に対するまなざしを覆う原因に もなります。自らを活かす環境を見つめ、改善して行く力がなければ、他人ばかりではなく自らをも滅 ぼしてしまいます。

山形大学では、学生のみなさんが生まれ育ち、学び、交流し、生活している地域そのものを、学問 の対象、学問の場とした基幹科目「山形から考える」を設定しています。この科目でみなさんが身につ けることとなる、自らを取り巻く環境を見つめ、そこに内在する課題を発見し、解決への具体的な道 筋を見定め、改善を実践する能力こそが、現代社会において自らを見失わないための羅針盤になると 考えたからです。「山形から考える | での学びは、みなさんが高校までに受けてきた授業や学部教育で 行われる専門教育とは異なり、体系的かつ網羅的、もしくは集中的かつ徹底的に知識や技術を修得 する型をとりません。地域という現場に関する融合的な現象の見つめ方を座学で学び、地域という学 習フィールドに出て複眼的な視野に基づく課題解決能力を獲得し、地域という環境で暮らす人々との 交流を通じて社会対応能力を高めます。

「山形から考える」を構成する科目群のひとつひとつは、みなさんが将来生活する地域と大学で身に つけた専門的な学びとを繋ぐ力を獲得する場であり、自分自身の立脚点を確認する省察の場でもあり ます。基盤共通教育の学びを通じ、将来にわたって揺るがぬ人生の指針をみなさんに獲得していただ きたいと願っています。

# 地域学習タイプ



による授業は行わない。

教員による講義を重視 現地視察(地域における 1日程度の地域での体験学 2日以上の地域での体験 し、現地学習や外部講師 受動的な学び) and/or 外 習(地域における能動的 学習を行う。 部講師による講義を行う。 な学び)を行う。

# 協働学習タイプ



個人による学習を重視 学習時間の1/4以下で、 学習時間の1/4以上で、 学習時間の1/2以上で、 し、協働学習(グループ 協働学習を行う。 協働学習を行う。 協働学習を行う。 ワークやプレゼンテーショ ン) は行わない。

		Les Alle		神義空 体験空		
	時間割コード	授 業 名	担当教員	地域学習タイプ	協働学習タイプ	校時 定員 ページ
1	78607	山形の方言と日本語	中澤 信幸	0-0-0-0	0-0-0	月 3.4 <mark>40</mark> 07
2	78619	地域の知恵と科学の力でエコ社会創り	大谷 典正	0-0-0	0-0-0	月 5.6 <b>25</b> 08
3	78632	世間の歩き方	小倉 泰憲	0-0-0-0	0-0-0-0	月 9.10 20 09
4	78712	山形の歴史と文化	荒木 志伸	0-0-0		火 3.4 <mark>120</mark> 10
5	78720	山形の食を考えるⅠ	三原 法子/石垣 和恵/藤田 洋治	0-0-0	0-0-0-	火 5.6 <mark>24</mark> 11
6	78721	フィールドワーク城下町	阿部 宇洋	0-0-0	0-0-0	火 5.6 30 12
7	78733	グローバル社会で活躍するために-国際派の先輩をお招きして-	高橋 辰宏	0-0-0	0-0-0	火 7.8 <mark>80</mark> 13
8	78734	山形の歴史と文化	荒木 志伸			火 7.8 <mark>120</mark> 14
9	78735	地域の中の大学	橋爪 孝夫	0-0-0	0-0-0-0	火 7.8 <mark>100</mark> 15
10	78360	山形と紅花の歴史	岩田浩太郎	0-0-0	0-0-0	水 3.4 50 16
11	78368	地域体験スタートアップ	滝澤 匡/佐々木 究	0-0-0	0-0-0-0	水 5.6 45 17
12	78379	山形の水土里 (みどり) 資源	奥山 武彦/渡邉 一哉/吉村 謙一/ 渡辺 理絵/石川 雅也/藤井 秀人	•	••••	水 7.8 50 18
13	78469	山形から日本と世界を考える	Reinhold Grinda	0-0-0-0	0-0-0-0	木3.4 200 19
期 14		出羽の先史時代	白石 哲也	0-0-0	0-0-0	木 3.4 45 20
15	78471	高大連携でスキルアップ!	山本 陽史	0-0-0-0	0-0-0-0	木3.4 50 21
16	1	人間の生活と食の安全・安心Ⅲ	堀口 健一/平 智/小林 隆	0-0-0-0	0-0-0-0	木5.6 50 22
17	78480	人間の生活と食の安全・安心 I	片平 光彦/佐藤 智/松本 大生	0-0-0-0	0-0-0-0	木 7.8 50 23
18	<del> </del>	新聞で山形を知る	山本 陽史	0-0-0-0	0-0-0-0	金5.6 50 24
19	78574	フィールドワーク・月山-景観から地域を読む-	八木 浩司	0-0-0-0	0-0-0-0	金7.8 20 25
20	+	「地域」と「学校」の関係から山形を考える	野口 徹	0-0-0	0-0-0	金7.8 50 26
21	78579	フィールドワーク 山形で働く魅力 (プレインターンシップ)	松坂 暢浩 / 山本美奈子	0-0-0-0	0-0-0-0	金9.10 80 27
22		山形から考える地域づくり	村松 真	0-0-0-0	0-0-0	集中 20 28
23	78904	山形の森づくり体験	滝澤 匡	0-0-0-0	0-0-0-0	集中 6 29
24		農業・農村の技術とマネジメントを学ぶ(農業体験)	小沢 亙	0-0-0-0	0-0-0-0	集中 50 30
25		フィールドラーニングー共生の森もがみ	阿部 宇洋	0-0-0-0	0-0-0-0	集中 87 31
26		フィールドラーニング庄内	阿部 宇洋	0-0-0-0		集中 7 32
1	79165	地域体験スタートアップ	滝澤 匡/佐々木 究	0-0-0	0-0-0-0	月 5.6 25 33
2		雪国で考える	三上 英司/楠本 健二/小松 恒誠	0-0-0	0-0-0-0	月 5.6 <b>25</b> 34
3		山形の火山、世界の火山	伴 雅雄	0-0-0	0-0-0-0	月 5.6 22 35
4		山形の歴史と文化	荒木 志伸	0-0-0	0-0-0-0	火 3.4 <mark>120</mark> 36
5	79610	歴史民俗資料を読み解く	阿部 宇洋	0-0-0	0-0-0	火 5.6 30 37
6	79625	山形の歴史と文化	荒木 志伸	0-0-0		火 7.8 <mark>120</mark> 38
7	79351	山形の企業を考える	柴田 聡	<del></del>	0-0-0	水1.2 <mark>24</mark> 39
<u>144</u> 8	79356	観光経済学と地域ブランド	田北 俊昭	0-0-0	0-0-0	水 3.4 <mark>40</mark> 40
後 9	79362	山形の食を考えるⅡ	石垣 和恵/三原 法子/藤田 洋治	0-0-0	0-0-0	水 5.6 24 41
#H 10	79372	キャリア形成とワークライフバランス	井上 榮子		0-0-0	水 7.8 40 42
期 11	79463	フィールドワーク城下町	阿部 宇洋	0-0-0	0-0-0	木5.6 30 43
12	79555	近代文学の中の山形	森岡 卓司	0-0-0	0-0-0	金3.4 30 44
13	+	新聞で山形を知る	山本 陽史		0-0-0	金5.6 50 45
14		世間の歩き方	小倉 泰憲	0-0-0	0-0-0-0	金7.8 20 46
15		仕事の流儀~山形の職業人から学ぶ仕事のやりがい~	松坂 暢浩/山本美奈子		0-0-0	金7.8 150 47
16		山形から考える地域産業	吉原 元子	0-0-0	0-0-0-0	集中 20 48
17	·	地域のにぎわいづくり体験	滝澤 匡	0-0-0-0	0-0-0-0	集中 6 49
18	<b>1</b>	やまがたフィールド科学Ⅱ (雪国の森と雪を科学する)	菊池 俊一	0-0-0-0	0-0-0-0	集中 30 50
10	17705	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	707 IX			× 1 30 30



「山形から考える」の各授業では、学問としての知識や技術に加えて、山形各地の魅力に出会えます。 他県出身の学生が山形に興味を持ち、4年間を通じて自ら探求するきっかけを見つけてくれること を期待しています。また、県内出身者にとっても、新たな山形の魅力に出会うことで故郷の素晴らし さを改めて感じる機会になることと思います。

```
前-1 PO7 山形の方言と日本語
前-2 PO8 地域の知恵と科学の力でエコ社会創り
前-4 P10 山形の歴史と文化
前-6 P12 フィールドワーク城下町
前-8 P14 山形の歴史と文化
前-10 P16 山形と紅花の歴史
前-11 P17 地域体験スタートアップ
前-12 P18 山形の水土里(みどり) 資源
前-14 P20 出羽の先史時代
前-15 P21 高大連携でスキルアップ!
前-19 P25 フィールドワーク・月山-景観から地域を読む-
前-20 P26 「地域 | と 「学校 | の関係から山形を考える
前-22 P28 山形から考える地域づくり
前-23 P29 山形の森づくり体験
前-24 P30 農業・農村の技術とマネジメントを学ぶ(農業体験)
前-25 P31 フィールドラーニング-共牛の森もがみ
前-26 P32 フィールドラーニング庄内
後-1 P33 地域体験スタートアップ
後-2 P34 雪国で考える
後-3 P35 山形の火山、世界の火山
後-4 P36 山形の歴史と文化
後-6 P38 山形の歴史と文化
後-7 P39 山形の企業を考える
後-11 P43 フィールドワーク城下町
後-12 P44 近代文学の中の山形
後-16 P48 山形から考える地域産業
後-17 P49 地域のにぎわいづくり体験
```

後-18 P50 やまがたフィールド科学Ⅱ(雪国の森と雪を科学する)

# 山形の方言と日本語

前期

担 当 教 員 中澤 信幸

曜 日 校 時 月曜日 3・4

### 授業の目的

おしょうしな(ありがとう)一山形は方言豊かな地です。方言というと地域に密着した感じがしますが、 実は日本語全体や世界の言語を考える上でも重要な要素です。方言から言葉の歴史的変遷をたどる ことも可能です。この授業では山形の方言と日本語、世界の言語について学んだ上で、実際に方言 調査を行うことで、山形方言と日本語の実態について考えていきます。

### 授業内容

前半では『山形方言』を始めとした方言と日本語、さらには世界の言語について考えます。 後半では、グループごとにまず学内で方言意識に関するアンケート・インタビュー調査を行い、成果 を発表します。そして【大石田町で方言調査を行い】、その成果を発表します。

- 第 1 回 講義の進め方とガイダンス
- 第2回 日本語の歴史と方言
- 第 3 回 『山形の方言』
- 第 4 回 世界の言語と方言
- 第 5 回 グループ討論 「方言とは? |
- 第 6 回 山形大学学生の方言意識について
- 第 7 回 グループワーク 「方言意識アンケートの作成」
- 第8回 グループ発表「アンケートの内容と目的 |
- 第 9 回 グループ発表「方言意識に関するアンケート調査の成果」
- 第10回 グループワーク「方言調査シートの作成」
- 第11回 グループ発表「方言調査シートの内容と目的 |
- 第12回 【大石田町における方言調査】
- 第13回 グループワーク 「方言調査の成果発表準備 |
- 第14回 グループ発表「大石田町における方言調査の成果」
- 第15回 授業のまとめとレポートの説明



### 授業で学べる山形関連情報

対象市町村: **大石田町** 



#### 地域学習タイプ

講義型 体験型

協働学習タイプ

個 人 グループ

# 学生へのメッセージ

方言を始めとした言葉は、自分で実際に見聞きすることで、初めてその存在を実感できます。自分の 足で出かけてアンケート・インタビューをすることで、言葉の多様性を体感してみませんか。 なお、調査に伴う交通費等は自己負担となります。

# 地域の知恵と科学の力でエコ社会創り 前期

担 当 教 員 大谷 典正

曜日校時 月曜日 5・6

### 授業の目的

生活を豊かにしてくれる化学製品と地球環境との共存への理解を深めるため、身近なプラスチックゴミに焦点をあてて現状と課題についての基礎的な知識を得ることを目的とします。具体的には、重大な海洋汚染を引き起こすプラスチックゴミ削減にむけて家庭でできることは何か? また、正しいリサイクルの方法は? ゴミ問題の現状を講義するとともに、化学実験を通して最先端のリサイクル技術への理解を深めます。

また、身の回りには未利用バイオマス資源が豊富にあることを実験で体感するとともに、地元山形のリサイクル団体の活動を紹介しながら、地域の知恵から自分たち市民レベルで可能な活動方法について考えます。一方、みかんの皮に含まれるリモネンを利用した発泡スチロールのリサイクル化学実験や、雑草からゴムを取り出す実験を体験して、「化学の力」を利用して「ゴミ・ムダ」から資源が生まれることを学習し、自分の立場で地球資源を守るためになにができるのか理解を深めることを目的とします。

#### 授業内容

- ●毎回、物質文明と地球環境とを共存させていくための諸課題について触れ、現状を認識することで、次世代を担っていく立場での問題解決について考えていきます。
- リサイクルやエコに関する資料を中心に講義を 進め、地元『山形での精力的に活動するエコ 事業』等々、最新の話題からも理解を深めます。
- 諸課題に関する、個々人の考えをまとめてプレゼンテーションでの口頭発表を行い、聴講者は発表内容についての質疑により理解を深めます。
- 化学的な手法によるリサイクル・エコ技術に 関する演示実験を通して、環境との調和を目

指すものづくり企業の取り組みを理解します。

- (1) プラスチックゴミの問題 (プレゼンテーション発表)…5回
- (2)『山形、国内外の企業が取り組む リサイクル (プレゼンテーション発表) …2回
- (3) 雑草からゴムを作る最先端研 …2回
- (4) 『山形での使用済植物性食用油から リサイクルせっけんづくり』…2回
- (5) ナタネ油や使用済植物性食用油からの 自動車用燃料化…2回
- (6) まとめ (プレゼンテーション発表) …2回



山形大学 山形市 地域学習タイプ 体験型

協働学習タイプ グループ

# 学生へのメッセージ

これまで、化学を学んできた人だけでなく、高等学校で化学を学んでこなかった人でも理解できる授業です。20世紀に、人類にたくさんの恩恵を与えてくれたプラスチックが、現在では海洋汚染等の重大な問題を引き起こしています。化学製品と地球環境との調和について考えてみましょう。

# 世間の歩き方

前期

担 当 教 員 小倉 泰憲

曜 日 校 時 月曜日 9・10

#### 授業の目的

本授業では日本社会に特有の側面である「世間」について理解していきます。世間は日本中のいたる ところ、大都市や地方に、広い範囲のものから、狭いものまで、様々な形で浸透しています。世間に おいては、人々がお互いに助け合うという特長もある一方、生きづらさを感じさせる特徴も持ってい ます。山形で学ぶということは、山形における世間を知る絶好の機会です。本授業では学生一人ひと りにとっての世間に着目し、今、山形大学で学ぶということを通じて自分の世間を客観的に表現でき、 世間とうまく付き合えるようにしていきます。

### 授業内容

第2回までは世間に関する基礎的な講義を行い、第3回から第12回までは世間が有する主要な特徴につ いて検討していきます。第13回では世間に適応する方法を取り上げます。ここまでは主として4人程度 の小グループ形式で議論する形式をとります。第14回で個人ごとに取り組みテーマを定め、各自検討し ていきます。

- オリエンテーション
- 「世間 とは ・なぜ世間を扱うのか ・世間の良い点・怖い点
- 3-4. 「恩返し」の検討
- 5-6. 「上下関係」の検討
- 7-8. 「共通意識」の検討
- 9-10. 「ウチとソト」の検討
- 11-12. 「自然宗教」の検討
- 13. 「世間」に適応する・世間への順応方法・世間の縛りから逃れる方法
- 14. テーマ検討・個人的に取り上げたいテーマの選定・個別テーマの検討
- 15. 全体まとめ
  - 注) 履修者数や授業の進行状況に応じて順番や内容が変更されることがある。



# 学生へのメッセージ

日本の中での「あたりまえ」に違和感を持ったり、生きづらさを感じている人がいますが、これは「世 間上によるものかもしれません。自分なりの問題意識を持って授業に参加することをお勧めします。

# 山形の歴史と文化

前期

担 当 教 員 荒木 志伸

曜 日 校 時 | 火曜日 3・4

### 授業の目的

山形について歴史・文化的視点から学び、地域への愛着を深める授業です。 みなさんは、山形大学に在籍している期間はもちろん、卒業後も山形という 土地とそこで触れた文化に少なからず影響されるところが多いはずです。「地 域」を知ることは、自らの生まれ育った場所を認識することであり、その結果 として「自己 | を発見することでもあります。山形で生まれ育った人も、初めて 来られた人も、本授業で山形についての理解を深めてください。



### 授業内容

毎回、『山形の歴史や文化』に関する内容を取り上げます。多くの映像資料を用いながら、パワーポ イントでわかりやすく解説していきます。

第 1 回	ガイダンス	第9回	『山形の文化② 麺文化-ラーメン・蕎麦-』
第 2 回	『山形県の概要』	第10回	『山形の文化③ GI山形-優れた日本酒-』
第 3 回	『山形の歴史・文化財①	第 11 回	『山形の文化④ 伝統工芸』
	山形の絵画・古文書』	第12回	『山形の文化⑤』【附属博物館の見学】
第4回	『山形の歴史・文化財② 山形の考古資料』	第13回	『山形の歴史と人物① 最上義光』
第 5 回	『山形の歴史・文化財③ 山形の仏像』	第 14 回	『山形の歴史と人物② 上杉鷹山』
第6回	『山形の歴史・文化財④ 山形の建築』	第 15 回	『山形の歴史と人物③ 授業のまとめ、
第7回	『山形の歴史・文化財⑤ 山形の日本遺産』		山形および山形大学に関わる人物』
第 8 回	『山形の文化① 果物と在来野菜』		

#### 授業で学べる山形関連情報

# 対象市町村:

山形市、鶴岡市、酒田市、 新庄市、米沢市など

上記の市町村を中心として、山形の豊 かな歴史と文化に関する基礎知識を得 ることができます。



米沢市

地域学習タイプ 講義型 体験型

協働学習タイプ 個 人 グループ

# 学生へのメッセージ

#### 【過去の受講者の感想】

- 山形出身なのに、知らないことばかりだった。山形には目立つ歴史はないと思っていたので驚いた(人文1年)。
- これからの4年間を過ごす上で、入門の授業として最適な内容だと思う(医学1年)。
- 地元に戻ったら、自慢したい山形ネタを得られた(工学1年)。
- 山形県に特別な歴史は何もないと思っていたが、文化財や魅力にあふれていて、誇りに思うように なった(地教1年)。

【授業評価】担当教員は令和元年のベストティーチャー賞を受賞しています。また、学生による授業評 価(総合平均)も4.7/5、4.81/5など、受講生の多くが満足しています。

# 山形の食を考えるⅠ

前期

担 当 教 員 三原 法子/石垣 和恵/藤田 洋治

曜日校時 火曜日 5・6

### 授業の目的

山形の食文化を学ぶことで現代の食生活の課題を考究します。

# 授業内容

#### 講義ならびに実習

山形の食文化について調理実習を含めて体験的に学びます。

第 1 回 オリエンテーション・山形県の郷土料理概観

第 2 回 郷土料理における「かてもの文化」

第 3 回 米の食文化(よもぎ団子実習を含む)

第 4 回 実習1 ウコギ飯(置賜) 孟宗汁(庄内)

第 5 回 実習2 笹巻ときな粉

第 6 回 魚介類の保存食とその利用(塩蔵・乾燥)

第7回 実習3うどと身欠きニシンの煮物(内陸)ふきの煮物

第8回 山形の在来作物と産業

第9回 地域産業と連携した商品開発の実際(わらび入り肉団子等の実習を含む)

第10回 野菜の保存食とその利用(わらび製品を利用した実習を含む)

第11回 実習4いかの塩辛(庄内)枝豆のみそ汁(庄内)

第12回 実習5 しそ巻き(内陸) だし(村山)

第13回 お盆の行事食(田川地方のお盆7月15日前後で)

第14回 出身地の郷土料理プレゼン発表(一人3分スライド5枚以内)

第15回 調理実習室の大掃除、授業の振り返り



# 授業で学べる山形関連情報

対象市町村: 山形県全域



# 地域学習タイプ

講義型 体験型

協働学習タイプ

個人グループ

# 学生へのメッセージ

グループ活動への積極的参加を求めます。調理実習経費は実費負担です。授業内で食材費 2700円 を徴収しますので、準備をしておいてください。

# フィールドワーク城下町

前期

担 当 教 員 阿部 宇洋

曜 日 校 時 火曜日 5・6

### 授業の目的

山形市は霞城公園を中心とした城郭の名残がある都市です。 これから大学生活を過ごす地域の魅力をみずから発見し、歴 史的な、文化的な物の見方、文化財や景観から情報を取得 し調査する方法、比較方法を身につけます。

### 授業内容

基礎的な内容を講義した後、フィードワークの計画をたてます。 その計画に基づき実際に【山形市中心街をフィールドワーク】し てもらい、レポート、発表をしてもらいます。 学生が主体となって【山形市内を調査】する講義です。

#### 前期日程『山形市』(城下区域)

- 1. オリエンテーション
- 2. 山形の城下と絵図、地図、班編制
- 3. 【フィールドワーク1 (大学周辺)】
- 4. フィールドワーク計画の作成(グループワーク)
- 5. 【フィールドワーク2 (城下)】
- 6. フィールドワークの結果をまとめる
- 7. 【みずからの関心事項の調査】
- 8. みずからの関心事項の発表(レポート提出)

- 9. 【フィールドワーク3 (城下追調査)】
- 10. 調査場所で興味があった事項を調査、まとめ
- 11. 発表計画
- 12. 発表作成1
- 13. 発表作成2
- 14. 城下の魅力を発表
- 15. リフレクション

# 授業で学べる山形関連情報

対象市町村: 山形市



地域学習タイプ

講義型 体験型

協働学習タイプ

個人

# 学生へのメッセージ

【教員のメッセージ】歴史学、民俗学は歩いて学ぶことも大切です。過去を学ぶ面白さを共に学びま しょう。前期後期とも同じ講義です。時間割と相談しながら受講ください。画像は、講義中に使用す る Instagram で学生が撮った写真です。総合評価 4.9/5.0 の講義です。

#### 【過去の受講者の感想】

- 普段行くことの無い寺や道を行くことができ、山形をより知ることが出来た。
- フィールドワークだけでなく、パワーポイントの作り方やレポートの書き方等も学べ、さまざまな能力 を培うことができた。

# グローバル社会で活躍するために

-国際派の先輩をお招きして-

前期

担 当 教 員 高橋 辰宏

曜 日 校 時 火曜日 7・8

### 授業の目的

海外だけではなく、国内、県内、キャンパス内でも、グローバルに対応できる実践力が必要な時代です。グローバル社会に生きることを考え、そして理解し、さらに行動することをテーマにします。

#### 授業内容

毎回、さまざまな講師の話を聞き、質問する、グループで議論する、発表するなどを通じて行います。

(以下の企業・機関に依頼して授業を進めることを予定しています。 なお、日程及び講師は変更となる可能性があります。)

- 1. オリエンテーション
- 2. 一般社団法人山形県国際経済振興機構
- 3. アルケマ株式会社
- 4. 学生議論(1)
- 5. 一般財団法人東北多文化アカデミー
- 6. 株式会社シェルター
- 7. 先輩から聞く(文系・理系)
- 8. 学生議論(2)
- 9. 山形県観光文化スポーツ部 インバウンド・国際交流推進課
- 10. 日本貿易振興機構 (ジェトロ) 山形貿易情報センター
- 11. 認定 NPO 法人 IVY
- 12. 学生議論(3)
- 13. グループ発表
- 14. グループ発表
- 15. グループ発表



#### 授業で学べる山形関連情報

対象市町村: 山形県全域



# 地域学習タイプ

講義型 体験型

#### 協働学習タイプ



# 学生へのメッセージ

グローバル社会に生きるため意欲的に学習・行動することを期待しています。

# 山形の歴史と文化

前期

担 当 教 員 荒木 志伸

曜 日 校 時 | 火曜日 7・8

### 授業の目的

山形について歴史・文化的視点から学び、地域への愛着を深める授業です。 みなさんは、山形大学に在籍している期間はもちろん、卒業後も山形という 土地とそこで触れた文化に少なからず影響されるところが多いはずです。「地域」を知ることは、自らの生まれ育った場所を認識することであり、その結果 として「自己」を発見することでもあります。山形で生まれ育った人も、初めて 来られた人も、本授業で山形についての理解を深めてください。



## 授業内容

毎回、『山形の歴史や文化』に関する内容を取り上げます。多くの映像資料を用いながら、パワーポイントでわかりやすく解説していきます。

第 1 回 ガイダンス 第 9 回 『山形の文化② 麺文化-ラーメン・蕎麦-』 第10回 『山形の文化③ GI山形-優れた日本酒-』 第2回『山形県の概要』 第11回 『山形の文化4 伝統工芸』 第3回『山形の歴史・文化財① 山形の絵画・古文書 第12回 『山形の文化(5) 【附属博物館の見学】 第 4 回 『山形の歴史・文化財② 山形の考古資料』 第13回 『山形の歴史と人物① 最上義光』 第 5 回 『山形の歴史・文化財③ 山形の仏像』 第14回 『山形の歴史と人物② 上杉鷹山』 第6回『山形の歴史・文化財40山形の建築』 第15回 『山形の歴史と人物③ 授業のまとめ、 第7回『山形の歴史・文化財⑤山形の日本遺産』 山形および山形大学に関わる人物

#### 授業で学べる山形関連情報

第8回『山形の文化①果物と在来野菜』

#### 対象市町村:

山形市、鶴岡市、酒田市、 新庄市、米沢市など

上記の市町村を中心として、山形の豊かな歴史と文化に関する基礎知識を得ることができます。



# 地域学習タイプ 体験型

# 協働学習タイプ



# 学生へのメッセージ

#### 【過去の受講者の感想】

● 山形出身なのに、知らないことばかりだった。山形には目立つ歴史はないと思っていたので驚いた(人文1年)。

米沢市

- これからの4年間を過ごす上で、入門の授業として最適な内容だと思う(医学1年)。
- 地元に戻ったら、自慢したい山形ネタを得られた(工学1年)。
- 山形県に特別な歴史は何もないと思っていたが、文化財や魅力にあふれていて、誇りに思うようになった(地教1年)。

【授業評価】担当教員は令和元年のベストティーチャー賞を受賞しています。また、学生による授業評価(総合平均)も4.7/5、4.81/5など、受講生の多くが満足しています。

# 地域の中の大学

前期

担 当 教 員 橋爪 孝夫

曜 日 校 時 | 火曜日 7・8

#### 授業の目的

皆さんが毎日通っている大学は地域社会の中に深く根を下ろしています。しかしその関わりが当事者である学生自身には見えづらいことも事実です。縁あって山形大学に学ぶこととなったこの機会に、自分達の住む地域と通う大学の関係を題材に、世の中における物の見方、考え方を学びましょう。世界を知ることで改めて自分を知り、生涯の学びを豊かにする手がかりを掴むことが目的の授業です。

# 授業内容

『【山形大学が地域と連携して行っている活動をテーマに、グループ協働による課題発見・探究型学習】 | を行います。

グループ協働学習により、自立した個人として社会の中で自らの能力を活かし、その役割における責任を果たすという公共精神に則った態度・志向性の養成を目指すものです。

地域と大学の関係をテーマとし、知識・理解を深めるとともに大学での学びを社会生活に応用する機会ともなります。

- 1. チーム分け、講義の進め方とガイダンス
- 2. テーマの中での考究課題の設定と 全体の運営について
- 3. 全体スケジュール、担当グループ、発表順の決定
- 4-7. 各グループの企画発表と予備討論
- 8. 中間報告会
- 9-13. 最終報告会に向けての準備
- 14. 最終報告会
- 15. 振り返りと評価

(以上は予定。授業の進捗により変化)



# 授業で学べる山形関連情報

対象市町村: 山形県全域



# 地域学習タイプ

講義型 体験型

# 協働学習タイプ



# 学生へのメッセージ

皆さんは大学を卒業した後、身につけた力を世の中にどのように活かすのでしょう。この授業での活動 は現段階での力試しです。そして人は一人では生きていけません。人間が社会的な生き物である以上、 その力を発揮するためには、様々な形で他者との協働が必要となります。

授業を涌して個の力を世の中で活かす術を身につけましょう。

# 山形と紅花の歴史

前期

担 当 教 員 岩田浩太郎

曜 日 校 時 水曜日 3・4

### 授業の目的

『山形県村山地方の歴史』を学びます。とくに今日に至る村山地方の風土や特徴が形成されたと思われる江戸時代~明治時代に焦点をあてます。全国史とは異なる地域史の視点を学び、現代の地域活性化の諸条件を検討するうえでの【地域史の意義】を理解し活かせるようになります。

### 授業内容

- 1. 講義形式で進めます。担当教員が長年調査してきた古文書の調査研究や文化財保存・活用の取り組みについて具体的な事例を示しながら講述します。
- 2. 最上紅花のDVDや地域での取り組みの画像などを観覧し、現場の実践を知ることを大切にしながら講義を進めます。
- 3. 【講義をふまえて受講生が山形県村山地方の歴史で関心をもった事項につき調べて小レポートを作成する。受講生が自らフィールドワークをおこないます。】

#### 日程

第 1 回 講義の進め方とガイダンス

第2~3回 『山形県村山地方の特徴と風土』

第4~5回 全国と地域の関係

第6~7回 最上紅花・養蚕業など産業文化の展開

第8~9回 日本一の紅花商人

第10~11回 農業構造と階層分化 第12~13回 【地域の発展と衰退の諸条件】

第14回 【旧家と町並みの保存活用の取り組み】

第15回 授業のまとめと試験



重要文化財 旧柏倉家住宅と紅花畑

#### 授業で学べる山形関連情報

対象市町村: 村山地方全域



# 地域学習タイプ

講義型 体験型

# 協働学習タイプ



# 学生へのメッセージ

歴史文化を活かした地域活性化の諸条件を考えたいと思います。

# 地域体験スタートアップ

前期

担 当 教 員 滝澤 匡/佐々木 究

曜 日 校 時 水曜日 5・6

#### 授業の目的

- 人口問題を中心とした、日本全体及び地方(山形)の現状と将来的課題を講義により学習します。
- 山形の魅力的な歴史・文化・自然・人物・企業などを学習し、地方創生に繋がる地域の可能性を理解します。
- 大学周辺の地域活動に参加する地域体験により、地域の現状と課題を知ることができます。
- 講義でのグループワーク、地域活動での協働により、年齢や背景の異なる人々の組織で活動する 楽しみに出会え、社会人力を向上させることができます。

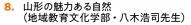
#### 授業内容

【全国および山形に関連する12回の講義】と【地域体験】(1日 程度)を行う。

義:地域の現状と課題、山形の魅力を複数の教員のリ レー形式により実施する。

地域体験:グループにわかれ、社会福祉協議会や自治会と連 携した小白川キャンパス周辺の地域活動に参加する。

- ガイダンス
- 2. 日本の現状(1) + グループワーク
- 3. 日本の現状② + グループワーク
- 4. 地方(山形)の現状(1) + グループワーク
- 5. 地方(山形)の現状(2) + グループワーク
- 6. 地域学習にむけた心得 + グループワーク
- 7. 山形の魅力ある歴史 (学士課程基盤教育機構・阿部宇洋先生)



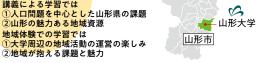
- 9. 山形の魅力ある彫刻 (地域教育文化学部・土井敬真先生)
- 10. 山形の魅力ある人物 (地域教育文化学部・三上英司先生)
- 11. 山形の魅力ある企業 (学士課程基盤教育機構・松坂暢浩先生)
- 12. 山形の魅力ある農業
  - + 【地域体験】(6月~8月の週末や休暇中に、 大学周辺の地域活動へ1日程度参加する)

# 授業で学べる山形関連情報

### 対象市町村:山形市

講義による学習では

- 地域体験での学習では
- ①大学周辺の地域活動の運営の楽しみ





# 学生へのメッセージ

自分たちが暮らす地域がどのような人々により支えられているのか学び、将来自分たちが担っていく気 概を持ってくれるとうれしいです。

#### 【過去の受講者の感想】

- ●色々な先生の視点から山形の魅力を知ることができ、とても良い。
- ●グループワークでは自分の考えもつかないような意見や考え方をたくさん聞くことができ、とても刺激だった。 【授業評価】学生による授業評価は4.8/5(H30:Q総合的に判断すると良い授業でしたか?)

# 山形の水土里(みどり)資源

前期

担 当 教 員 奥山 武彦/渡邉 一哉/吉村 謙一/渡辺 理絵/石川 雅也/藤井 秀人

日 校 時 水曜日 7・8

### 授業の目的

主に山形県を対象として、農業を支える農業用水(水)と農地(土)、そして農村(里)を通して、地 域の生活と密着した環境と社会基盤について考えます。

### 授業内容

農学部エコサイエンスコース、アグリサイエンスコースの6人の教員によるオムニバス方式の講義です。 主要なテーマは以下の通り。具体的な講義順は第1回目に説明する。

- 第 1 回 講義の進め方とガイダンス
- 第 2 回 時代の証人・古い地形図や空中写真を読む
- 第 3 回 大地の恵み・地下水資源
- 第 4 回 自然エネルギーと小水力発電
- 第 5 回 『山形の河川』が形成する環境と問題
- 第 6 回 『山形の河川』が形成する地域性
- 第7回 森と水の関わり合い
- 第8回 里山を活かした都市と農村の関係づくり - 『飯豊町・朝日町』を事例に -
- 第 9 回 映像で見る様々な水田
- 第10回 清らかな水環境をつくる農村へ
- 第11回『山形発』。

農地からの温室効果ガス排出ゼロに向けた取り組み

- 第12回 農業土木遺産と伝統技術
- 第13回『山形五堰』に関する基礎知識
- 第14回 『庁内平野』の農業用水と雪一地球温暖化による影響は?一
- 第15回 まとめ

# 授業で学べる山形関連情報

対象市町村:

山形市、朝日町、飯豊町



# 地域学習タイプ

講義型 体験型

# 協働学習タイプ



# 学生へのメッセージ

山形駅~小白川キャンパス~清明寮が坂道なのはなぜ?

キャンパス内のグラウンド脇や繁華街に流れる水路はどこから来ているの?

県庁所在地でありながら落ち着いたたたずまいの山形市は水辺空間が似合う、水・土・里の街です。 初めて山形に来た人も、本講義で取り上げた所のウォッチングに出かけてみましょう。

# 山形から日本と世界を考える

前期

担 当 教 員 Reinhold Grinda

曜 日 校 時 木曜日 3・4

### 授業の目的

映画や小説で現れる三ヶ国のことを、山形と日本と比べて、自分で興味があることを見つけることが、この講座の目的です。

# 授業内容

いろいろ考えて、自分の知っているところと、授業で読んだ小説、観た映画を比べます。例えばこのようなことを $\cdots$ 

- 何が山形にないけどこの映画 (小説) の場所や国にありますか (または逆)?
- どこが自分の知っている環境とこの映画 (小説) の場所や国が、特に違いますか?
- 内容のなかから、何が(危機、葛藤、人や人間関係など)、山形にもありえますか。
- 以前から持っていた、その国のイメージを考えて、何がいちばん意外でしたか。
- ●映画・小説の人々の人間性・価値観・社会観は、どこが自分の知っていることと違いますか。
- 後輩や、高校生などもっと若い人に、その内容から何を伝えたい、何を分かって欲しいですか。

グループワークで何人もの観察を纏めるときがあれば、個別の結果を聞かれる時もあります。どの違いも、というより、自分で興味あることを中心にします。

使われている映画や小説は、背景が現在に近い時点か、二十世紀内の特徴的な時点です。すべては 同時代の内容ですが、歴史物は紹介されていません。

- 1. 山形と日本とヨーロッパ諸国、どうやって比べられますか?グループを決める。内容を選ぶ。
- 2.-4. 国ナンバーワン、映画、小説(翻訳付きのコピーを前週に配付)、グループワーク
- 5.-7. 国ナンバーツー、映画、小説、グループワーク
- 8.-10 国ナンバースリー、映画、小説、グループワーク
- 11.-12. 参加者各々は、映画や小説に出た、特に興味ある国・場所・内容について、山形・日本の体験を話します。
- **13.-15.** 数人で、関心のあることをテーマに、山形と比べてもっとも似ているところ、もっとも対照的なところについて口頭発表します。



# 地域学習タイプ 講義型 体験型 協働学習タイプ

# 学生へのメッセージ

山形をよく知っている人は海外のことも、もっとよく分かることができます。この授業はその二つを比べてみます。

# 出羽の先史時代

前期

担 当 教 員 白石 哲也

曜 日 校 時 木曜日 3・4

### 授業の目的

本授業では、山形 (出羽) を中心フィールドとして、過去の人類の歩みを通し、現代社会における文化や環境など様々な問題について考えることで、複眼的視野から物事を考察するための基礎的な力を身に着けることを目的としています。

#### 授業内容

- 1. 講義・グループワークおよびフィールドワークを組み合わせて行います。
- 2.フィールドワークでは、実際に遺跡を訪れ、考古資料と遺跡を見学・体験します。

第 1 回 ガイダンス

第 2 回 考古学とは何か

第3回 各論(1):出羽の旧石器時代

第 4 回 各論(2):出羽の縄文時代

第 5 回 各論(3):出羽の弥生・古墳時代

第6~8回 遺跡訪問

第 9 回 遺跡訪問のまとめ(1)

第10回 遺跡訪問のまとめ(2)

第 11 回 遺跡訪問のまとめ(3)

第12回 出羽の先史時代について: グループで調査・まとめ(1)

第13回 出羽の先史時代について:グループで調査・まとめ(2)

第14回 出羽の先史時代について: グループで調査・まとめ(3)

第 15 回 出羽の先史時代について: 発表

●遺跡訪問は、5月16日(土)を予定しています。



#### 

# 学生へのメッセージ

この授業では、出羽の先史時代について考古学的な観点から学んでいきます。そして、実際の遺跡に赴き、そこで過去の人々の生活を体験することで、文字からだけでは伝わってこない歴史を体感します。

# 高大連携でスキルアップ!

前期

担 当 教 員 山本 陽史

曜 日 校 時 木曜日 3・4

### 授業の目的

「高大連携」とは耳慣れない言葉だと思いますが、高校と大学が協同して生徒・学生のためにさまざまな事業を行うことを言います。皆さんの高校に大学の先生が出前授業に来るのもその一つです。皆さんが【山形大学】について調べたことを高校の先生や後輩、保護者に伝えたり、イベントの運営を通して山形大学の高大連携事業をサポートする授業です。高大連携の取り組みを通して社会との接点を持ち、大学生・近い将来の社会人としての成長を促すことが目的です。

# 授業内容

『山形大学』の良さを高校関係者に発信するため、以下のいずれか1つ、あるいは複数の事業を選んで取り組んでもらいます。

- 1. 母校を訪問して山形大学について高校の先生や、後輩、保護者等に説明を行う。母校訪問は高校側と日程調整の上、平日夕方や高校の夏季休暇中などに行ってもらう大学と高校の夏休みのずれを利用して行ってもらう。旅費は大学から支給。
- 2. 米沢オープンキャンパス (8月7日(金))・小白川オープンキャンパス (8月1日(土) 開催) の保護者説明会の運営とプレゼンテーションを行う。
- 3. 授業時間内に小白川キャンパスを訪問する高校の生徒や PTA 会員に対してキャンパスを案内したり、山形大学についてプレゼンテーションをしたりします。
- 4. 小白川オープンキャンパス(8月1日(土)開催)で実施する東北の高校生を対象とした朗読コンクールの企画・運営を行う。会場は小白川キャンパスの教室または近隣の施設を予定。8月1日(土)の10:00から17:00まで朗読コンクールの運営に参加してもらいます。

受講人数にもよりますが、各自取り組みたい事業を選び、グループを形成し、それぞれの目的に対してグループワークを行います。





# 学生へのメッセージ

山形大学は学生の創意工夫を大切にし自主性を重んじ、特に基盤共通教育では社会人となるための 基礎力を磨き成長をサポートします。この授業はまさにその目的のための授業です。自分を磨きたい人 の受講を待っています。

# 人間の生活と食の安全・安心Ⅲ

前期

担 当 教 員 堀口 健一/平 智/小林 隆

曜 日 校 時 木曜日 5・6

#### 授業の目的

私たちの生活と食の安全・安心、農業との関わりについて理解を深めることです。山形の農畜産物などの身近な食について総合的な視点から学ぶことです。

# 授業内容

各専門分野 (畜産学、果樹園芸学、植物病理学) の 教員が担当します。

具体的なテーマには

●畜産:「私たちにとっての畜産物とは」など

●果樹:「奇跡のリンゴ

-木村秋則のリンゴ栽培の記録-|など

●病理:「生物農薬(微生物)を利用した病害防除」など

〔写真〕 空から見た「庄内平野」 遠望するのは山形の母なる山「月山



### 授業で学べる山形関連情報

#### 対象市町村: 山形県全域

農畜産物の県内産地(庄内、最上、村山、 置賜の各地方)を紹介します。 畜産:豚肉「庄内豚」、牛肉「米沢牛や 山形牛」→庄内地方や置賜地方など 果樹:山形の果物(リンゴ、サクランボ

など) →村山地方など 作物: 山形の米「はえぬき」「つや姫」

作物:山形の米|はえぬき」| 「雪若丸」→庄内地方など



# 地域学習タイプ

講義型 体験型

# 協働学習タイプ

個 人 グループ

# 学生へのメッセージ

- 本授業のキーワードは 「食の安全・安心|「農畜産物|「食生活|「有機栽培|「病害防除」などです。
- 教員からの投げかけ皆さんへ、担当教員の専門分野を通じて様々な視点からの問題提起があります。
- 自分自身の意見を それら(教員からの問題提起)をもとに、皆さんにとって大切な、身近な食について、自分自身の 考え方、ものの見方を深めてください。

# 人間の生活と食の安全・安心Ⅰ

前期

担 当 教 員 片平 光彦/佐藤 智/松本 大生

**曜 日 校 時** 木曜日 7・8

### 授業の目的

農学的な視点から人間の生活と食の安全と安心を考察することを目的とします。

# 授業内容

生産機械学、果樹園芸学、動物生態学を専門とする教員が分担して講義を行います。 初回ガイダンスを行い、講義の順序を含めて概要を説明します。 「ガイダンス」(初回)

「農業機械学の視点から見た人間の生活と食の安全安心 |

- ●農業機械と食の安全
- ●農作業と農業機械
- ●地域と連携した農業機械のデザイン
- ●農作業の安全と人間工学

「果樹園芸学バイテク分野の視点からみた人間の生活と食の安全・安心 |

- ●果樹園芸におけるバイオテクノロジー
- ●遺伝子組換えの基礎
- 遺伝子組換え作物の現状
- ●遺伝子組換え作物にまつわるリスク

「動物生態学の視点から見た人間の生活と食の安全安心」

- ●害虫とは?
- ●これまでの害虫防除
- ●これからの害虫防除1
- ●これからの害虫防除2

「テスト」(最終回)

# 授業で学べる山形関連情報

対象市町村: 山形県全域



# 地域学習タイプ 講義型 体験型 協働学習タイプ

# 学生へのメッセージ

授業担当者によって違った視点からの問題提起がなされると思いますが、それらを基にして皆さんが自分自身の考え方、ものの見方を深めてください。

# 新聞で山形を知る

前期

担 当 教 員 山本 陽史

曜 日 校 時 | 金曜日 5・6

### 授業の目的

社会や文化の動きを知るのに新聞ほど役に立つメディアはありません。速報性ではテレビやインターネットにはかないませんが、事件の背景の分析や専門家の見解など、その本質を理解する参考となる記事が新聞には掲載されます。つまり社会現象を深く掘り下げるのに適しています。この授業では【山形県全域をカバーする山形新聞の記事を題材にして、山形の社会・文化の現状についてのニュースを読んで分析】するとともに、「山形から見ると日本・世界はどう見えるか、その動きが山形とどのようにかかわっているのかを分析」していきます。また、新聞の文章はコミュニケーションのための日本語としてはとても上質なものです。授業のレポートや、就職のためのさまざまな文章を書く際に大いに参考になりますので、文章についても分析し、それを模範にした文章のトレーニングもします。

### 授業内容

毎回当日の【山形新聞】を中心に、『山形』に関する記事を中心にタイムリーな新聞記事を取り上げ、その記事の背景を解説するとともに、その記事を手がかりにして調査などを行います。もちろん東北・全国・世界の話題も取り上げ、視野を広げます。また、何回かは全国紙(読売・朝日・毎日など)やブロック紙(河北新報)と同じ話題を取り上げた記事を取り上げ、比較します。また、新聞の文章を分析し、それにならって新聞記事風のレポートを書いていただきます。出しっぱなしではなく、添削を加え、また授業中に提出されたレポートを例示し、改善すべき点を検討しながら、各自の最終レポートを仕上げていきます。

- 1. 授業概要の説明、新聞を取り巻く環境の説明
- 2.-12. 文章の書き方の練習当日の新聞の記事の解説、それに関する調査、討論、 新聞の文章の分析、ハレポート作(この間のうち3回)、ハレポートの添削と修正
- 13. 最終レポート下書き作成、提出
- 14. 最終レポート下書き添削、訂正
- 15. 最終レポート完成品提出、講評

# 授業で学べる山形関連情報

対象市町村: **山形県全域** 





協働学習タイプ グループ

### 学生へのメッセージ

山形県内で起きているさまざまの社会現象や文化活動、山形が現在置かれている状況、山形の歴史や将来像などを知ることができます。実は日本の人口の100分の1弱である山形は日本の縮図であると言えます。山形を知ることは日本を知ることなのです。

# フィールドワーク月山

-景観から地域を読む-

前期

担 当 教 員 八木 浩司

曜 日 校 時 | 金曜日 7・8

### 授業の目的

山形県の中心に位置する独立峰・月山の自然環境、防災科学、人文科学的知見の学習を通し て、山形の有形・無形資源としての月山を学際的に分析します。そして、ほかの地域に対して同様な multidisciplinary 分析が行えるようにします。

# 授業内容

5月まで教室での座学で月山に関する基礎知識を学びます。それら基礎知識を基に、関心のある分野 ごとに履修者らがグループを構成し、フィールド学習のテーマを選びます。さらにグループ毎に選ん だテーマについて自ら研究を深め、その成果のプレゼンテーションを行い、質疑を通して履修者全員 に月山で学べることの理解を深めていきます。最終的には、週末を利用した集中講義形式で実施する フィールドワークで、学んだことを確認するとともに、机上で学んだ知識と現場で見たり触れたりする 現象とのギャップを知ることで理解を深めていきます。

第 1 回 授業の進め方に関するオリエンテーション

第2回 月山の地理的位置と地形的特徴

第 3 回 月山を構成する地質と火山活動

第4回 月山周辺の気候環境:雪と風、自然災害と適応

東北日本と月山周辺の植生と恵み 第5回

月山・湯殿山・羽黒山:歴史と奥参り 第6回

第7回 プレゼンテーションの準備

第8回 プレゼンテーション1

プレゼンテーション2 第9回

第10~15回 月山の地形・地質・植生

出羽三山地域の歴史性(6月中・下旬の土・日曜日をつかった集中講義)

#### 授業で学べる山形関連情報

対象市町村:西川町大井沢地区・志津地 鶴岡市 区、鶴岡市羽黒地区、庄内町立谷沢川流域

- ・出羽丘陵の成立と月山火山群の発達 ・多雪地域がなぜ形成されるか
- ・多雪がもたらす地形と植生・偽高山帯の特徴 ・地形/気候/植生がもたらす月山の恵みと 利用技術の開発と伝承



# 地域学習タイプ 講義型 体験型 協働学習タイプ 個 人 グループ

# 学生へのメッセージ

多分野学際的な授業になるので、様々な現象を繋げる柔軟性と思考の切り替えが必要です。授業形 式以外に、フィールド学習を行うので歩いて学ぶ姿勢が必要です。

この授業ではテキストに書かれていることのみを覚えるのではありません。フィールドにおいては、それ らの現象は、他の現象とオーバーラップし渾然となっていることから、意識しないと見つけ出すことは 困難です。単なる断片的な知識を意識によって他の現象と繋がりのある応用可能な知識としていくこ とを学んでください。

# 「地域」と「学校」の関係から山形を考える 前期

担 当 教 員 野口

日 校 時 | 金曜日 7・8

## 授業の目的

現代社会は価値の多様化、グローバル化等の大きな変化が加速度を増しており、学校はこれらの状 況に対応することが求められています。同時に、学校の周辺地域との協力関係によって問題解決する ことも求められています。そうしたときに、地域と学校はどのような「共生」を目指していくべきなのか、 それぞれの立場や役割について検討しながら地域と学校との共生関係、特に山形における展開の可 能性を考察します。

### 授業内容

まず、「地域」とは何か。「学校」とは何をするとこ ろか、ということについて様々な情報と学生の皆さ んの経験を通して考察します。次いで、「地域から 学校が無くなる | という現象について全国各地の事 例を通して分析します。さらに、『山形県内におけ る「地域と学校の共生」に関する事例」について検 討していきます。特に、『山形県朝日町』において 実際に取り組んでおられる方をゲストに招いて具体 的な様子についてお話をうかがいます。最後に、全 員がグループに分かれて、【「自分たちが将来山形 で生活をした場合、学校とこのようなかかわりを提 案していきたい | という「計画書 | を作成】し、全 体討論を行います。





#### 授業で学べる山形関連情報

#### 対象市町村: 朝日町

朝日町における「地域」と「学校」とが 相互に関連し合い、地域の暮らしの豊 かさを追究していく実際の取り組みに ついて、ゲストの講話や資料などを分析する活動から学びます。



# 地域学習タイプ

講義型 体験型

### 協働学習タイプ

個 人 グループ

# 学牛へのメッセージ

「山形において地域と学校との共生のあり方を本格的に考える」というプランを作り、発表することが ゴールとなります。そのため、自分のこれまでの人生経験と各種の資料のもたらす内容とを比較しな がら「自分だったらこうしたい」といった、自分らしさを出していくような積極的な取り組みを期待して います。

# フィールドワーク 山形で働く魅力

前期

担 当 教 員 松坂 暢浩/山本美奈子

曜 日 校 時 | 金曜日 9・10

### 授業の目的

<仕事を体験する時間 ~就業体験を通して働くとは何かを考える~>

本授業は、『山形県内での就業体験(インターンシップ)』を通して、早期からキャリア意識と学習意欲を高め、働くとは何かを考えることを目的としています。また2年次以降のインターンシップ参加に向けた準備段階と位置付け、【山形県内の中小企業(山形県中小企業家同友会加盟企業)または官公庁で3日間のインターンシップに参加】してもらいます。

#### 授業内容

事前・事後学習とインターンシップ参加を組み合わせて実施します。具体的には、インターンシップ参加前の準備として事前学習の授業を行います。その後、インターンシップ先に事前訪問し、夏休み期間中に3日間のインターンシップに参加します。インターンシップ参加後は、事後学習として体験の振り返りと成果報告会を行います。

第 1 回 オリエンテーション

第2回 インターンシップ参加のための準備①

第3~4回 履歴書、志望理由書など応募書類の作成①②

第5~6回 ビジネスマナーを学ぶ①② (外部講師)

第 7 回 インターンシップ参加のための準備②

第8回 『山形で働く魅力について学ぶ(外部講師)』

第9回 インターンシップ参加のための準備③

第10~12回 【インターンシップ参加(3日間)】

第13~15回 体験の振り返りと成果報告会

※インターンシップ参加準備の状況により、回数や内容に変更がある場合があります。

#### 授業で学べる山形関連情報

対象市町村: 山形県全域

山形県内での就業体験 (インターンシップ)



# 地域学習タイプ

講義型

体験型

#### 協働学習タイプ

個 人 グループ

# 学生へのメッセージ

- 1. 本授業は、学生の成長につながる教育的効果が高いインターンシップとして、文部科学省の「大学等におけるインターンシップ表彰」で最優秀賞(全国1位)を受賞しました。
- 2. 教員独自のアンケート調査で、インターンシップの参加満足度は約95%でした。
- 3. 履修した先輩の感想 (アンケートの感想から一部抜粋)

「初めての経験ばかりで、インターンシップの3日間は毎日がとても新鮮でした。仕事の大変さや働くことのやりがいを知ることができ、自分に足りないことを見つけ、将来についてもっと考えていかなければならないと感じることができました。|

「インターンシップ実習中に担当者からビジネスマナーについて具体的に説明を聞いてとても参考になりました。」

# 山形から考える地域づくり

前期

担 当 教 員 村松 真

曜日校時集中

#### 授業の目的

地域づくりは、地域の問題を明らかにし、計画的に解決していくことです。そのためには、地域住民が同じ問題意識を共有しお互いに協力しながら取り組んでいくことが大切になってきます。地域の問題は、地域の現実を直視することによって見えてきます。本授業は、学生主体型授業であり、山形県を対象として多種多様な地域の現状を把握する方法論を学び、県内各地で展開されている地域づくりについて考えていきます。さらに、身近な地域(河北町畑中地区を予定)を題材として地域づくりの実習を行います。特に、地域づくりにとって重要な構成要素である計画作成(Planning)・事前評価(Simulation)・実行(Do)・事後評価(See)という4つの部分について現地視察・調査を踏まえて構築できるようになることが目的です。

## 授業内容

県内各地の多種多様な問題を取り上げ整理し、これらの問題に対応し県内各地で実施されている地域づくり事例について講義するとともに、具体的な地域を対象とした実習・ワークショップ・討論を行い、現代社会で展開されている地域づくりの実態と比較しながら地域づくりに対する理解を深めていきます。なお、講義においては、質疑応答の時間も組み入れ、その都度議論できるようにします。主要なテーマと順序は次のとおりです。なお、授業実施期間は、8月7日(金)~9日(日)とし、第6回~第10回の実習は8月8日(土)に行います。

第 1 回 オリエンテーション

第 2 回 山形の農山漁村を取り巻く問題と地域づくり

第 3 回 山形の商工観光を取り巻く問題と地域づくり

第 4 回 山形の少子高齢化社会を取り巻く問題と地域づくり

第 5 回 現地視察・研修の取り組み方法

第6~9回 現地視察・調査(現地は河北町畑中地区を予定)

第10回 現地視察・調査結果の整理・まとめ

第11~12回 現地視察・調査結果の整理・検討

第13~14回 今までの授業から学んだことに対する討論

第 15 回 まとめと補足

# 授業で学べる山形関連情報

#### 対象市町村: 河北町畑中地区

山形県内各地の問題・課題を理解するとともに、地域の現状の把握 方法、地域づくりを具体的に進め るための方法を学びます。



# 地域学習タイプ

講義型 体験型

協働学習タイプ

個人グループ

# 学生へのメッセージ

地域の問題を知ることは、そこで展開される地域づくりの中心的な題材を見つけることになります。地域づくりは、全国どこでも取り組まれており、地域住民が自ら参加し自ら取り組むものです。このことは、正に、地域で生きることであると言えます。この学生時代に、地域を考えるとともに地域づくりを学び、地域で生きるということはどういうことかについて考えてみてはどうでしょうか。皆さんの学びをできる限りサポートしたいと思います。

# 山形の森づくり体験

前期

担 当 教 員 滝澤 匡

曜日校時集中

### 授業の目的

- 下草刈りや歩道敷設など森林整備作業を行い、山形の豊かな自然を体験的に学習します。
- 山形の魅力を五感で学び、深みある知識として修得することで、山形や地域への関心を高めてくれることを期待しています。
- 学外の方々とグループで作業することを通じて、組織で活動する際に必要なコミュニケーション力や、 自ら作業を見つけ出す行動力を向上させることができます。

# 授業内容

NDソフトウェア株式会社 - 山形県 - 南陽市が共同で行う森林整備活動「こもれびの郷プロジェクト」に参加します。5月~9月にかけて月に一度(土曜日)森に入って活動し、鉈(ナタ)・鋸(ノコギリ)・鎌などを使い下草刈りや歩道敷設を行います。夏場の野外作業になりますが、女子学生(過去受講者の約半数を占める)や女性社員の方々も楽しく活動されています。

● 日程 1. ガイダンス→2. 履修決定→3. 事前打合せ→4. 現地での演習 5月~9月 合計5日間



#### 授業で学べる山形関連情報

# 対象市町村:

南陽市 森林整備作業を通じて山形の豊か

な自然を学びます。



## 地域学習タイプ

協働学習タイプ

個 人 グループ

#### 学生へのメッセージ

地域の方々とともに汗を流す協働作業を通じて、社会で求められる力を向上できる授業としても、学生たちから好評です。

【過去の受講者の感想】●自然を想い、守る心を感じることができた。●山形でしかできない本当に貴重な経験ができた。●森での作業では自分から主体的に動かないといけない場面が多く、考えて行動することの重要性を感じた。●1つの目的に向け、多くの人と協力して作業する難しさと楽しさを知ることができた

【社会人力の向上】学生自身によるコミュニケーション力やチームワークなどの評価が 3.2 (受講前) → 4.1 (受講後) と変化

【授業評価】学生による授業評価は4.8/5 (H3O:Q総合的に判断すると良い授業でしたか?)

# 農業・農村の技術とマネジメントを学ぶ (農業体験)

前期

担 当 教 員 小沢 亙

曜日校時集中

#### 授業の目的

庄内地方の農家に宿泊して現場での農業生産業務を経験することで、現代農業の現状や問題点を理解し、就労について考えます。

### 授業内容

夏季休業中に5泊6日程度、グループで農家に泊まり込み、 農作業を体験します。

体験先、体験の日程については、受け入れ先との調整により 決定します。

農作業体験の内容は受入農家によって変わります。

4月予定 説明会と受講申込み(詳細は掲示等でお知らせします)

7月7日 事前ガイダンス

夏季休業中農業体験(8月24日~29日.5泊6日)

1 日 目 移動、直前ガイダンス、受入農家との対面

2 日 目 農家での農業体験

3 日 目 農家での農業体験

4 日 目 農家での農業体験

5 日 目 農家での農業体験

授業で学べる山形関連情報

三川町、庄内町、遊佐町

対象市町村:

鶴岡市、酒田市

6 日 目 農家での農業体験、まとめ(終了後解散)

鶴岡市

# 





個人

# 学生へのメッセージ

受入農家では、集団で農業体験・生活することになり、実際の農業生産業務を通じて農業の実状を学び、農業、農学について友人と話し合うよい機会になります。

山形⇔鶴岡の交通費が個人負担となる予定です。

講義の詳細は4月(予定)に行う説明会で説明します。受講希望者は必ずこの説明会に参加してください。

なお、日程の都合上、成績確定が前期の進級判定には間に合いませんので、過年度生等で前期で進 級を考えている学生は注意してください。

# フィールドラーニング -共生の森もがみ

前期

担 当 教 員 阿部 宇洋

曜日校時集中

### 授業の目的

自然豊かな山形県最上地域でのフィールドラーニングを通して、地域の文化や歴史、自然、環境等だけでなく、過疎化、少子高齢化等の現代日本が直面する諸問題を地域の人たちと共に学び、実践的な視点から知識を獲得し、山形から日本、世界及び過去から、現在、未来の空間及び時間軸で現象を把握する力を養います。

#### 授業内容

#### 授業の方法

この授業は、各自が以下のプログラム(①~⑧)から1つを選択して受講します。受講の流れは以下のとおりです。

- 1. オリエンテーション
- 2. 事前学習 (webclass)
- 3. 【1泊2日フィールドラーニング (1回目)】
- 4. 中間学習 (webclass)
- 5. 【1泊2日フィールドラーニング(2回目)】
- 6. 最終レポート (webclass)
- 7. 活動報告会に向けた説明会・練習
- 8. 活動報告会での発表

# (プログラムリスト)(予定)

- (新庄市) 商店街で歩行者天国 ー未来のウォーカブルまちづくりを考えるー
- ② (金山町) かねやま旅情
- ③ (最上町) 最上町の人・自然・文化にふれよう
- 4 (舟形町) 里地里山の再生
- (真室川町)子どもの自然体験支援講座
- ⑥ (大蔵村) 大蔵村の生活と伝統の継承
- (鮭川村)人と自然と地域をつなぐ環境保全活動
- ⑧ (戸沢村) 里山保全と角川のパワースポット巡り



#### 授業で学べる山形関連情報

対象市町村: 最上地域全域



#### 地域学習タイプ

講義型 体験型

#### 協働学習タイプ

個 人 グループ

# 学生へのメッセージ

#### 数量のメッセージ

山形大学の地域体験型授業と言えばコレ!森もがみとして有名な授業です。(総合評価 4.6/5.0) 過去の受講者の感想

- ●普段は行かない、自然の豊かさを知れた。
- ●地域の課題について真剣に考えることができ、刺激になった。
- ●普段の授業では学べない多くの事を学べた。

# フィールドラーニング庄内

前期

担 当 教 員 阿部 宇洋

曜日校時集中

#### 授業の目的

日本海側の庄内でのフィールドラーニングを通して、地域、文化、歴史、過疎化、少子高齢化等の 現代日本が直面する諸問題を地域の人たちと一緒に考えます。実践的な視点から知識を獲得し、山 形から日本、世界及び過去から、現在、未来の空間及び時間軸で現象を把握する力を養います。

### 授業内容

この授業は、オリエンテーションから始まり、事前学習の後、2泊3日のフィールドラーニング、事後学習を行います。フィールドラーニング終了後にレポートを提出してもらいます。また、フィールドラーニング終了後には、学びの成果を示す「報告会」を行います。これら全ての活動が成績評価の対象となります。今年度は『酒田市』を予定しています。

- 1. 説明会:4月予定 (詳細は掲示等でお知らせします) 詳細は基盤教育掲示板を参照。
- **2.** オリエンテーション 班顔合わせ・役割決め・フィー ルドラーニングの心構えについて
- 3. 【フィールドラーニング活動期間(庄内2泊3日)】





#### 授業で学べる山形関連情報

対象市町村: **酒田市** 



#### 地域学習タイプ

講義型 体験型

### 協働学習タイプ

個 人 グループ

# 学生へのメッセージ

教員のメッセージ 自己の学びを自己で形成し、さらに、現地で実証的に活動する授業です。実習経費は負担となりますが、地域の方に協力していただきながら活動します。白ばらサイコー!まずは説明会へお越し下さい。(総合評価 5.0/5.0)

#### 過去の受講者の感想

- ●濃厚な時間と学びを得られて楽しかった。地域の方々が関わってくださるのが嬉しかった。
- ●事前学習で自分の学びたいことについてある程度の知識を得、それをもとに現地で興味のあることを更に探しながら学習していく形態がすごくやりやすく、学んでいく上で楽しかった。